

第3回インドワークショップ

インドにおける第17次連邦下院選挙 ～選挙結果と今後の見通し～

2019年6月13日

帝京大学法学部

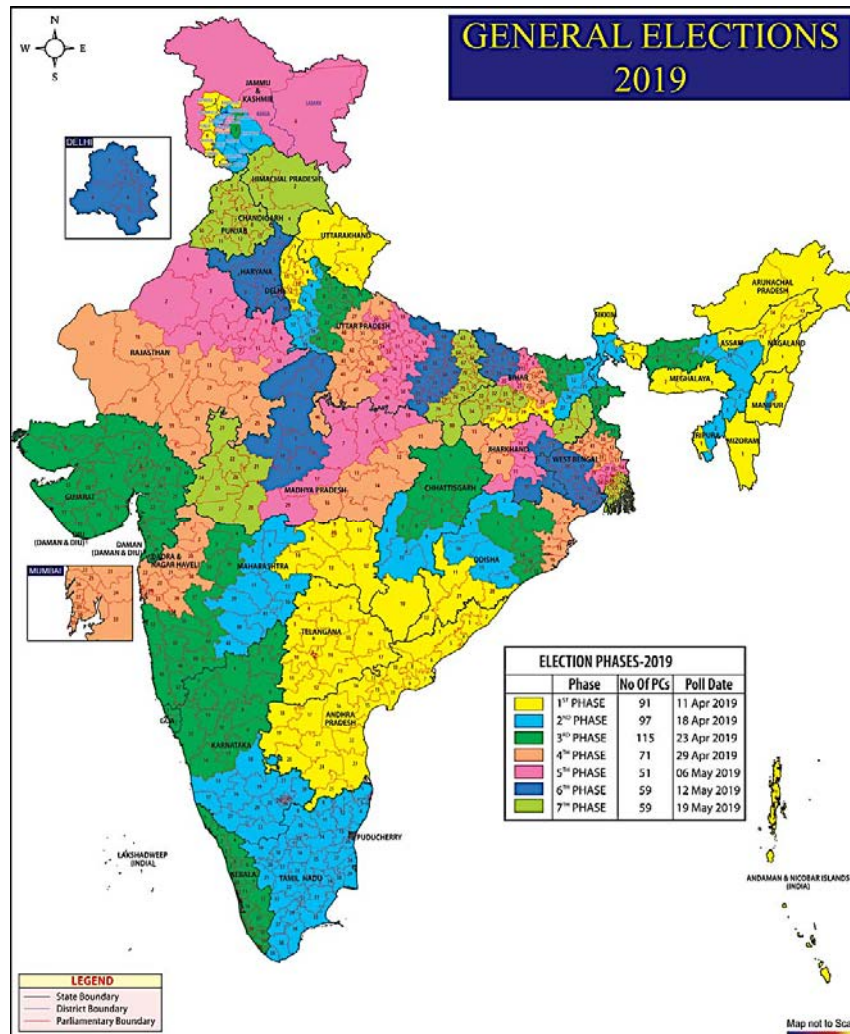
三輪博樹

■ インド連邦下院の選挙制度

- 連邦下院の定数は545議席。このうち543議席が小選挙区制によって選出される。下院の任期は5年。
- 残りの2議席は、アングロ・インディアン (Anglo-Indian) と呼ばれる少数集団の中から大統領によって任命される。
- 旧不可触民 (指定カースト) と一部の少数民族 (指定部族) に対して、優遇措置の一環として議席が留保されている。
- 選挙権は18歳以上の男女に対して与えられている。



■世界最大の選挙

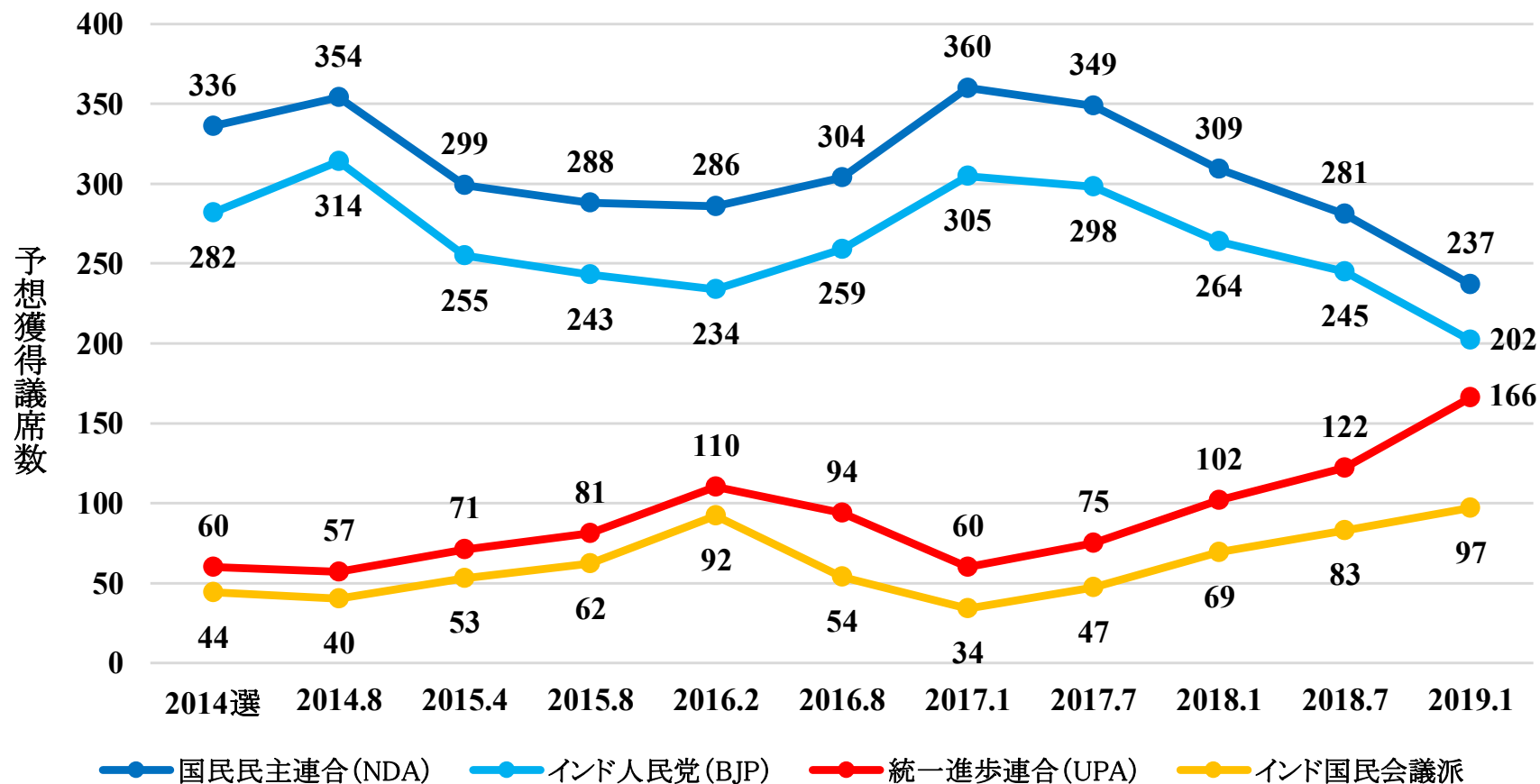


- 第17次連邦下院選挙の投票は、4月11日から5月19日まで7回に分けて実施された。
- 開票日は5月23日。
- 中央選挙管理委員会によれば、一般有権者の総数は約9億1,100万人、郵送投票を行う有権者（任務中の軍人など）の総数は約180万人。
- 全体の投票率は67.11%。2014年の投票率（66.44%）を上回り、過去最高の投票率となった。

* 出所: 中央選挙管理委員会のWEBサイト (<https://eci.gov.in>)

■ 選挙直前までの世論調査(1)

各政党陣営の予想獲得議席数



*India Today Group による「Mood of the Nation」調査にもとづく。横軸は調査結果が発表された時期を示す。「2014選」は、2014年の連邦下院選挙における各政党陣営の実際の獲得議席数を示す。

■ 選挙直前までの世論調査(2)

- インド人民党 (BJP) と、同党を中心とする与党連合・国民民主連合 (NDA) の予想獲得議席数は、2016年から2017年にかけては上昇傾向にあったが、2017年後半以降は一貫して低下傾向を示していた。
- 野党インド国民会議派と、同党を中心とする統一進歩連合 (UPA) の予想獲得議席数は、2017年後半から上昇傾向にあった。しかしそれでも、会議派とUPAの予想獲得議席数は、BJPとNDAのそれには遠く及ばないものであった。
- モディ政権への支持低下が続いていた理由として、雇用と物価の問題に対する人々の不満が大きいことが指摘されていた。
- これらの調査結果から、第17次連邦下院選挙については、どの陣営も下院の過半数を確保できない、「hung parliament」が出現する可能性が高いとの見方も示されていた。

■ ジャンムー & カシミール州でのテロ事件



- 2019年2月14日、ジャンムー & カシミール州西部のプルワマ (Pulwama) において、治安部隊の隊員を乗せたバスの車列がテロリストの襲撃を受け、隊員少なくとも40名が死亡するという事件が発生した。
- 事件後、パキスタンを本拠地とするイスラム武装集団「ジャイシェ・エ・モハンマド (JeM)」が犯行声明を出した。
- インド政府はパキスタンに対して強く抗議し、2月26日には、カシミールの管理ライン (LoC) を越えて、パキスタン側への空爆を実施した。

* 写真の出所: <https://www.indiatoday.in/india/story/pulwama-kashmir-terror-attack-mastermind-ghazi-abdul-rasheed-trained-adil-ahmad-dar-1457584-2019-02-16>

■ 第17次連邦下院選挙の注目点



- 与党インド人民党 (BJP) は政権を維持することができるか。BJPのナレンドラ・モディ政権の政策に対して、有権者はどのような評価を下すか。



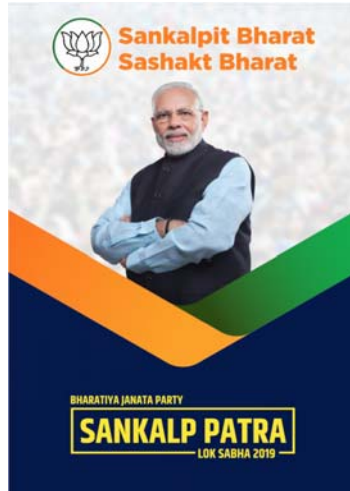
- ラフル・ガンディー総裁率いる野党インド国民会議派は、どれほど勢力を回復させることができるか。インド国民会議派と他の野党との間の選挙協力は成功するか。



- 2月14日にジャンムー&カシミール州で発生したテロ事件に対して政府が強硬な姿勢で臨んだことは、今回の選挙結果に対してどのような影響を及ぼすか。

* 顔写真は、両氏のツイッターのプロフィール画像より入手した。ミラージュ2000戦闘機の写真は以下のURLから入手した：
<https://thewire.in/security/four-reasons-india-has-little-reason-to-cheer-the-balakot-airstrike-and-its-aftermath>

■ 選挙綱領の比較



インド人民党(BJP)

- 表紙に記されたスローガンは、「Sankalp Bharat Sashakt Bharat (断固としたインド、力のあるインド)」。
- 政権与党であるためか、「インフラストラクチャー」「開発」などに多くの分量が割かれている。他方、会議派の選挙綱領と比べると、安全保障やテロ対策の問題をより重視した内容となっている。



インド国民会議派

- 表紙に記されたスローガンは、「Congress will deliver (会議派は実行する)」。
- 「雇用」「教育」「健康」などに多くの分量が割かれている。特に雇用の問題が重視されており、BJPの選挙綱領と比べると、雇用に関する部分に3倍以上の分量が割かれている。

■ 選挙結果



- インド人民党 (BJP) が圧勝。
- インド国民会議派は議席を伸ばしたが、BJPの前に大敗。



* 各政党および政党陣営の獲得議席数については、別紙を参照。

* 写真の出所: <https://www.bjp.org/en/photogallery/detail/2867811/celebration-at-bjp-hq-on-partys-historical-victory-in-general-election-2019>
および <https://www.hindustantimes.com/lok-sabha-elections/love-never-loses-we-will-emerge-stronger-rahul-gandhi-after-poll-defeat/story-P6bf7uNCMuA9eiKenEzddP.html>

■ インド人民党の圧勝の理由

- インド人民党 (BJP) が圧勝を収めた理由について、デリーの研究機関である発展途上社会研究センター (CSDS) は、世論調査の結果をふまえて以下の点を指摘している。
 - 2月に発生したジャンムー & カシミール州でのテロ事件に対して強硬な姿勢で臨んだことにより、人々の間にナショナリズムの感情を喚起することができた。
 - 総選挙の直前に発表された小規模・零細農家への支援策 (PM-KISAN) が、農村部での支持拡大につながった。
 - モディ首相個人の人気が引き続き高い状態であった。
 - 国民民主連合 (NDA) の選挙協力が成功した一方で、野党側の選挙協力が不発に終わった。反BJP陣営の戦略は、今回の総選挙の目的がBJPを倒すことだったのか、自らの支持基盤を守ることだったのか、不明確なままであった。

* CSDSの世論調査については以下を参照: <https://www.lokniti.org/NES2019POSTPOLL>

■ BJPを中心とする一党優位政党制



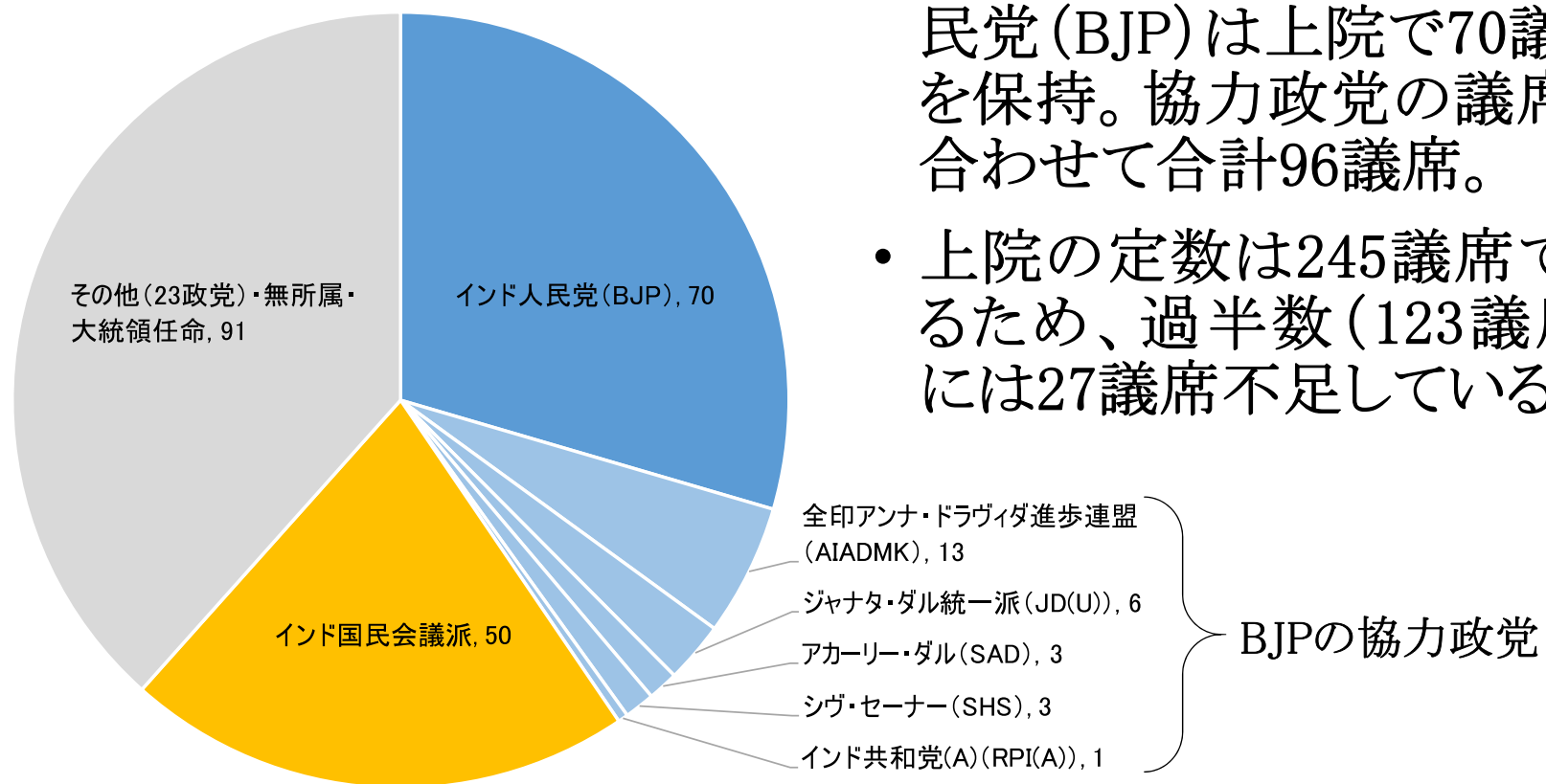
- 今回の選挙におけるインド人民党 (BJP) の勝利によって、インドの政党システムは、これまでの「競合的多党制」から、BJPを中心とする「一党優位政党制」に変化したと考えられる。
- インドの有権者は、「多数派主義的」かつ「宗教的」な傾向を有し、自らが所属する集団と他の集団との違いを強く意識するようになっている (Palshikar 2004)。こうした状況は、BJPが勢力を維持していく上で有利に働く可能性が高い。
- BJPは左右のイデオロギー空間の右側を占めているが、インドには現在、イデオロギー空間の左側を占める大政党が存在しない (Palshikar 2014)。

- Palshikar, Suhas. 2004. "Majoritarian Middle Ground?" *Economic and Political Weekly* 39(51): 5426-5430.

- Palshikar, Suhas. 2014. "The Making of a 'Neo-Hindu' Democracy," *Seminar* 665. http://www.india-seminar.com/2015/665/665_suhas_palshikar.htm.

■ 上院の見通し(1)

上院での各政党の議席数(2019年6月)



- 6月初旬の時点で、インド人民党 (BJP) は上院で70議席を保持。協力政党の議席を合わせて合計96議席。
- 上院の定数は245議席であるため、過半数 (123議席) には27議席不足している。

* 出所: 上院のWEBサイト (<https://rajyasabha.nic.in/rsweb.asp>)。

■ 上院の見通し(2)

- 上院議員のほとんどは、各州の州下院議員によって選出される。現在、インド人民党 (BJP) は多くの州で政権を握っているため、上院におけるBJPと協力政党の議席数の合計は、いずれは過半数ラインに達する。
- しかし、上院議員は2年ごとに3分の1ずつ改選されるため、各政党の勢力比が大きく変化するまでには時間がかかる。
- インド国内の報道では、上院におけるBJPと協力政党の議席数の合計が過半数ラインに達するのは、2021年から2022年にかけての時期と予想されている。
- ただし、BJPが今後、現在協力関係にない有力政党のうちいくつかから協力を取り付けることに成功すれば、2020年のうちに上院の過半数を確保することも可能ではないかとの見方も示されている。

以上
